

平成29年度東北地区港湾整備促進協議会が 開催されました

5月9日（火）、酒田市で平成29年度東北地区港湾整備促進協議会通常総会が開催され東北6県の港湾管理者と港湾整備促進を望む関係自治体から47名の出席がありました。総会の後に講演会が行われ東北地方整備局・小谷野副局長、花王（株）酒田工場・奥村工場長が講師として招かれ講演を行いました。

小谷野副局長は「港湾を取り巻く情勢」と題して、政府の動向や東北地域の港湾の動向について講演されました。8月に酒田港へ初寄港するコスタ・ネオロマンチカを含めた東北管内クルーズ船の寄港予定についても取り上げられ、既存ストックを活用したクルーズ船の受入環境の整備について解説がありました。

引き続き、奥村工場長から「酒田港を基点とした花王酒田工場の“よきモノづくり”」について講演がありました。酒田工場は国内2番目に歴史ある工場で、紙加工製品の供給拠点であり、特に紙オムツの生産高が拡大していますが、酒田工場が紙加工製品の生産供給の品質・コスト・スピードの面で他工場より優位である要因は、酒田港という港の存在・庄内地域（工業系）の人材・地域の協力によるものとの説明がありました。



小谷野副局長



奥村工場長（花王酒田工場）



講演会の様子

